

札幌市立琴似小学校

改築等基本計画

令和4年1月
札幌市

1 はじめに

札幌市立琴似小学校は、明治10年に開校し、昭和30年の琴似町の札幌市合併に伴い、琴似町立琴似小学校より現在の校名に変更され、開校145年の歴史を積み重ねている。

現在の校舎棟は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上3階建てで建設し、平成25年に1回増築している。また、屋内運動場棟は、校舎棟と同じく昭和47年に建設し、平成6年に改築を行っている。

校舎棟、屋内運動場棟共に、施設の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を図り、今般の教育・学習に対応した施設を整備するため、令和6年度の工事着手に向け、基本設計を行うものである。

また、学校改築に合わせて、児童会館を併設するものとする。

2 沿革

明治10年7月	開校
昭和47年8月	現在の校舎棟及び屋内運動場建設
昭和59年7月	プール棟建設
平成6年2月	屋内運動場棟改築
平成25年2月	校舎棟増築

3 計画地の概要

琴似小学校は、札幌市中心部から北西に直線で約4.9kmに位置している。校区内には地下鉄東西線琴似駅及びJR函館本線琴似駅があり、また、学校敷地周辺には北5条・手稲通等の主要道路が通り、交通の便が良い地域である。学校周辺は西区役所や琴似二十四軒まちづくりセンターがあるほか、商業施設や高層マンションが建ち並ぶ地域である。

- (1) 所在地 札幌市西区琴似2条7丁目1番30号
- (2) 敷地面積 14,196㎡
- (3) 地域地区等

用途地域	近隣商業地域（建ぺい率80%、容積率300%）
防火地域	準防火地域
日影規制	2.5時間・4時間
高度地区	60m高度地区
その他	第二種小売店舗地区 立地適正化計画：集合型居住誘導区域、都市機能誘導区域 札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外

- (4) 都市設備 上水道、公共下水道、都市ガス

4 計画規模の概要

校舎棟：延べ面積 8,769㎡

（うち給食室350㎡、児童会館450㎡（※））

※天井高6m以上の軽運動可能な多目的ホール150㎡を含む。

屋内運動場棟：延べ面積 1,358㎡（うち体育館開放用施設 100㎡）

- 既存施設規模及び解体が必須となる建物は、別添配置図のとおり。
- 校舎棟は延べ面積で 700㎡程度の増築スペースを確保した計画とする。
- 昭和 59 年建設のプール棟は、配置上支障になる場合は解体する。
- 仮設校舎は使用しない計画とする。

5 通学区域

西区

琴似 1 条 1 丁目～7 丁目

琴似 2 条 1 丁目～7 丁目

琴似 3 条 1 丁目～7 丁目

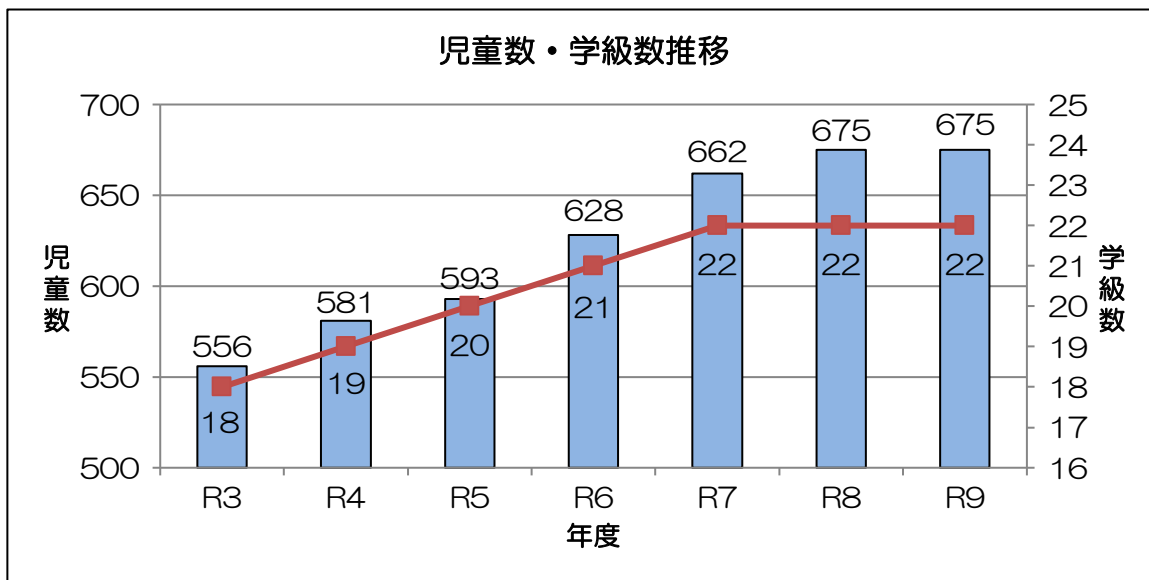
琴似 4 条 1 丁目～7 丁目

6 児童数の推計

通学区域の児童数・学級数ともに増加すると見込んでいる。

令和 3 年 5 月 1 日現在

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合計
児童数	98	104	92	88	84	90	21	577
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21



※特別支援学級を除く

※ 参考：関係児童会館の利用者数（令和 2 年度）

会館名	開館日数	利用者数	1 日当たり		
			うち小学生	うち小学生	
琴似小ミニ児童会館	293	16,958	16,929	58	58

7 施設計画

施設整備の目標を基本とし、学校教育目標、事業などの特色を踏まえた施設を計画する。

(1) 施設整備の目標

ア 教育・学習方法の多様化の視点から

- (ア) 多様な学習形態、高度な教育機器の導入などに対応可能な施設を計画する。
- (イ) 児童生徒の自発的な学習活動を促し、新たな興味を引き出すことが出来る多様な空間の連続性がある施設を計画する。
- (ウ) 機能性、耐久性及び安全性を高めた施設にするとともに、潤いのある施設を計画する。

イ 豊かな生活環境の視点から

- (ア) 児童生徒が生き生きと学習に臨めるように、学校生活にリズムを与え、気持ちの切り替えが図れるゆとりと変化のある空間構成を計画する。
- (イ) 学年・学級の枠を越えた児童生徒間の日常的なコミュニケーションを活発にし、先生と身近で気軽な活動を生む開放的な雰囲気施設の施設を計画する。
- (ウ) 学校に誇りと愛着を持ち、思い出に繋がる文化性、芸術性及び記念性を備えた個性的な施設を計画する。
- (エ) 児童生徒や教職員だけでなく、誰もが親しみをもち安全に利用できるようバリアフリーに配慮した施設を計画する。

ウ 地域連携の視点から

- (ア) 四季の変化に富んだ札幌の気候、風土または自然環境を楽しみ、愛着を持てる豊かな感性と人間性を育てる施設を計画する。
- (イ) その地区、地域に対応した機能性と、特性、歴史及び敷地の特徴を反映することにより個性的で特色ある施設のデザインを計画する。
- (ウ) 児童生徒の教育の場であると同時に、より多くの諸室が学校開放に利用できる構成とし、地域のコミュニティ施設、または生涯学習拠点のために機能する施設など、PTA活動やボランティア活動等が円滑にできる施設を計画する。

エ 環境配慮の視点から

- (ア) 自然エネルギーを活用するとともに、資源の有効活用を図り、環境と調和のとれた学校施設を計画し、環境教育にも活用できるような施設を計画する。
- (イ) 環境への負荷の低減を図るなど、環境対策を講じるとともに、環境を考慮した学校施設『エコスクール』を取り込んだ施設を計画する。

(2) 学校教育目標

心豊かに未来社会を創造する琴似の子どもの育成

- ア 明るい子 美しいものに感動する情操豊かな子ども
- イ 考える子 創造性に富み、個性豊かな子ども
- ウ がんばる子 働くことに喜びを感じる子ども
- エ 助け合う子 思いやりと協力の心をもつ子ども

※ 参考：琴似小学校 HP【<https://www16.sapporo-c.ed.jp/kotoni-e>】

8 整備内容

(1) 校舎棟

- ア 普通教室：21 教室
- イ 特別支援学習室：3 教室＋プレイルーム
- ウ 特別教室：9 教室

理科室、家庭科室、図工室、第1音楽室、第2音楽室（左記各準備室）、図書室、特別活動室、生活科室、教育相談室

エ 多目的室：3教室

多目的室、ICT 対応、少人数対応

オ 管理諸室

校長室、職員室、印刷室、保健室、PTA 室、用務員室、会議室、教材室、物品庫、除雪機置場、職員更衣室（男女別）

カ 通級指導教室

学習室6教室、プレイルーム、保護者控室、準備室

キ その他

ポンプ室、電気室、機械室、郷土資料室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）

※ 特別活動室、生活科室、会議室は、普通教室に転用可能な配置とする。

(2) 屋内運動場棟

アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室、開放用トイレ、備蓄庫

(3) 児童会館

玄関、事務室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、クラブ室、トイレ（個室トイレ、多目的トイレ）、水飲み場、収納、多目的ホール（器具庫、収納庫含む）

(4) 屋外環境施設

グラウンド用屋外物置、教材園

9 概算事業費

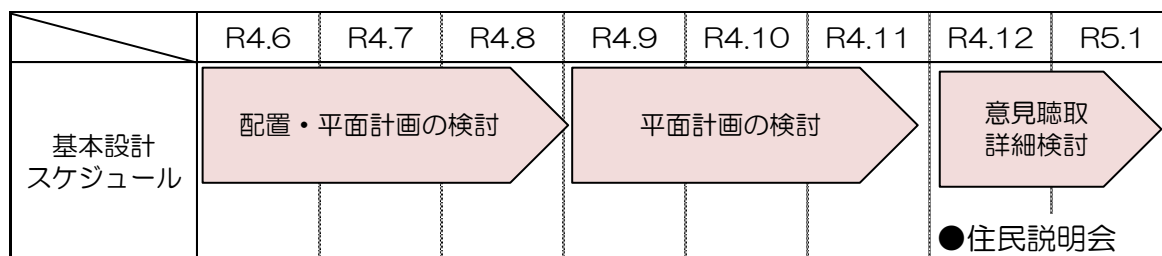
校舎等建設費 約 37 億円

解体費 約 3 億円

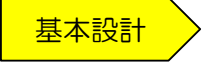
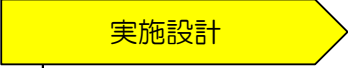
グラウンド造成費 約 2 億円

10 基本設計の進め方と想定スケジュール

学校、PTA 及び地域の代表等と協議しながら基本設計案を作成する。また、保護者や地域住民を対象とした住民説明会を開催し、意見を聴く。



11 改築等想定スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度～
<p>R4.6～R5.1</p> 	<p>R5.2～R6.3</p> 	<p>R6.10～</p> 